

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	(749) 2231
担当部課名	都市部	相模大野駅周辺整備事務		
事務事業名	相模大野西通り線道路改良事業		事業コード	34110

1 総合計画における位置づけ

政策名	第4章	広域交流都市を形成します	事業開始年度
基本施策名	第1節	魅力ある広域交流都市の整備	13年度
施策名	第1施策	活気ある中心市街地の整備	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
活気と魅力ある中心市街地の形成に向けて、西側地区市街地再開発事業の促進を図っている。また、併せて再開発区域外の(都)相模大野西通り線の整備を行うもの。 ・延長60m、幅員18m		・来街者 ・市民	
		対象数	
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
・都市計画道路相模大野西通り線の再開発区域外部分についての設計委託、測量委託、建物等補償調査委託などの調査・設計業務を実施した。		・市街地再開発事業関連公共施設の整備検討	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～年度

4 評価指標

指標名	建物等調査実施率	設計実施率	測量実施率
指標式	調査実施件数 / 調査計画件数 × 100	設計実施面積 / 設計計画面積 × 100	測量実施件数 / 設計計画件数 × 100
指標設定の意図	調査業務の進捗率を建物等補償調査の実施率により表す	設計業務の進捗率を設計委託の実施率により表す	測量業務の進捗率を測量委託の実施率により表す

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標			a 100.0	b 100.0	
指標			c 100.0	d 100.0	
指標			e 100.0	f 100.0	
事業費	決算(予算)額		16,457	19,770	
	人員・時間数		0.2人	0.2人	
	人件費		1,684	1,684	
	その他経費				
合計	0	0	18,141	21,454	0
特定財源	0	0	0	0	0

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
a	$\frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$	c	$\frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$
b		d	
e	$\frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$	f	
理由 : (都)相模大野西通り線の整備に向け、事業目標、スケジュールに沿った設計・調査を実施した。			
(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	県道町田厚木線と西側再開発事業区域とを接続する道路として都市計画の位置付けがあり、整備が求められる。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		
(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	事業費を精査に努めるとともに、入札など適正な契約手続きを実施した。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		
(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	再開発事業区域外であり、市が事業主体で整備を実施する。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		
(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	実施に向け、市民参加を含む都市計画決定の手続きを経て、計画を位置付けており、市民の満足は得られていると考えられる。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		
(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	再開発事業を実施する上で、区域外周を通る当該都市計画道路の整備は不可欠である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 13年度の事業目標である各種調査、設計などを着実に実施し、13年度の目的を達成した。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 適正な予算執行を行い、事業費の精査に努めた。

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		説明	相模大野西側区域は、現況道路が狭隘で、かつ老朽化建築物が多く存在し、防災上危険が多いことが、地域の課題の一つになっていた。こうした課題解決のため、再開発事業の実施と(都)相模大野西通り線の整備は、必要不可欠である。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--